

翔陽

帯広市立翔陽中学校 学校便り 第12号
令和5・3・24発行
校長 海鋒 達也

《学校教育目標》
豊かな心で たくましく 意欲をもって 希望を叶えよ

第12回 卒業証書授与式



< 式 辞 >

校長式辞より抜粋

世界中を混迷の渦に巻き込んだ新型コロナ感染拡大の影響をもろに受けた三年間でしたが、今あらためて自分の歩んできた足跡を振り返ったとき、楽しいことだけではなく、つらいこと、色々悩んだこともあったでしょう。でも、そうした困難も、皆さんが創意工夫の中で立派に克服してきたことに、心から敬意を表します。ただし、そこには皆さんを支えてくださったご家族や先生方、そして仲間の大きな力があつたことを決して忘れてはなりません。

人はこの感謝の気持ちをもてるからこそ、生きているこの時間の一部を他人に対して費やすことができるのです。どうか、今を生きていることに素直に感謝し、周りの事象や他人の行動に関心を持ち、他人のために何か行動を起こせる使命感をもった大人になってほしいと思います。

そのためには、身の回りに溢れている多くの情報から正しい判断力で取捨選択をし、規範意識を持って、ぶれない行動をすることが大切になってきます。と同時に、困っている人やハンデを負っている人を見たときに心を寄せる寛容さと融和の精神が重要です。

その行動と精神によって、皆さんは一人の大人として完全な自律を遂げ、これからの日本の安定した社会を作る一員として各界で活躍していくことになるのです。

この翔陽中学校で培った自信と誇りを抱いて、自分の夢の実現に向かって、ひるむことなく前向きに歩いてください。日本の将来を担う大切な大切な宝物である皆さんの、有望な前途を期待して式辞といたします。

【153名の旅立ち】

3月15日、第12回卒業証書授与式が行われました。感染対策のため、内容を一部短縮しての内容でしたが、3年ぶりに全校生徒・保護者・来賓を一堂に会しての開催となりました。(卒業生は、小学校卒業式・中学校入学式も無観客でした)多くの方に来ていただき、心温まるたくさんの言葉や、会場いっぱいに響く歌声は、卒業生を温かくつつみました。義務教育最後の日、卒業生の表情には感謝と決意が溢れていました。



「先輩の勇姿を引き継いで…」 在校生代表送辞より抜粋

私たちにとって三年生の存在は輝かしく、目標でありました。そして、いつもお手本となって導いてくださいました。私たちはこれから、三年生が創ってきた翔陽中学校を先輩方の勇姿に習い引き継いでいきます。そして、ますます誇れる翔陽中学校にしていきます。三年生の皆様は三年間、短く濃い学校生活を送ってきました。その時間に誇りを持って進んでいってください。いままで本当にありがとうございました。ご卒業おめでとうございます。



【代表:新妻さん】

「感謝を込めて…」 卒業生代表答辞より抜粋

卒業生代表答辞より抜粋



【代表:景山さん】

マスクと共にあった私たちの三年間。体育祭、修学旅行、文化祭、全てが私たちの記憶に鮮明に残っています。つらいことも、悔しいことも、もちろんありました。しかし今振り返ると、それらも私たちのかけがえのない思い出です。この翔陽中学校でこの仲間たちと共に三年間を過ごせて本当に良かった、本当の楽しかった、と心から思っています。保護者の皆さま、いつもわがままな私たちを支えてくださり、そして何より、私たちをここまで育ててください、本当にありがとうございました。この先も多くの迷惑をかけてしまうと思いますが、これからも私たちをよろしく願います。そして最後に、私たちを支えてくださった全ての方へ、ありがとうございました。

同窓会入会式

13日、同窓会入会式が行われました。大口勝広会長からは「夢の実現に向けて悩むことがあれば遠慮なく相談してほしい。そのための同窓会です。誇りを胸に、人と人とのつながりを忘れず困難を乗り越えてほしい。」との言葉をいただきました。それに対して大野幹事は「“人と人とのつながり”と“思いやりの心”を大切に、誇りを持ってそれぞれの道を歩んでいきたい」と決意を述べました。



【代表:山崎さん】

< 第12期同窓会組織部員 >

1組：大野尋徳・高井陽名 2組：岸梅圭汰・太田凧咲
3組：山崎 蓮・後藤 幸 4組：高橋一輝・荒木 葵
幹事：山崎 蓮 (理事) 大野尋徳 (副理事)

祝 辞

卒業生の皆さん御卒業おめでとうございます

また保護者の皆様にも本日はお子様の御卒業 誠におめでとうございます

そして御来賓の皆さま 御多用のところ翔陽中学校の卒業式に御臨席賜りまして誠にありがとうございます

先生をはじめ学校関係者 地域の皆様には三年間子どもたちをしっかりと御指導頂きましたこと心より篤く御礼申し上げます

思い起こせば三年前の四月 皆さんは同じこの体育館で翔陽中学校の生徒としての緊張の中にその第一歩を踏み出されました

生憎この三年間は新型コロナウイルスの蔓延により 中学校の生活は順風満帆とは言えずとても大変で辛い思いをしたことも多かったことと思います

しかしそれは皆さんばかりでなく 皆さんを側面から支援してきた 保護者の方や学校生活を支えてくれた先生方や関係者の方々も きっと同じ思いをしていたことでしょう

さて皆さんは この世に生まれてきたということは 現在の環境がどうであれ必ずご両親がいます つまりあなたから見て一代前の先祖が2人いることとなります

そして二代前は祖父母で父方と母方にそれぞれ2人の合計で4名となり このように計算を進めていくと 十代前には1024名の先祖がいることになり 更に三十代前に遡れば現在の日本の人口を軽く超えてしまいます あくまでも仮定の計算の話なのですが

つまり皆さんの命は実に多くの先祖が命を繋いできた結果授かった命なのです もしこの沢山の先祖の一人でも病気や事故 災害や戦争で亡くなったり ご縁が無く子供に恵まれていなければ あなたはこの世に生まれていなかったかもしれません

実はあなたの命は一つではなくこういった何千何万という途方もない先祖の命のおかげで存在するものなのです

そして元をたどれば これだけ多い先祖ですから隣にいるクラスメートとも同じで先祖で繋がっていたかもしれません

ですから もしかすると赤の他人という人はいないのかもしれませんが 日本人も世界中の人ももしかしたら繋がっているのかもしれません

そう思えば 隣にいる人も学校に来る途中すれ違った人にも 家族のように親切丁寧に接しないといけないでしょう

皆さんは目に見えない人々に支えられてここまで生きてこられたのです

先ずは目の前に見える人たちに心から感謝し そしてこれから多く出会える人たちに親切に優しくできたなら きっと幸せな人生を歩むことができるでしょう

皆さんが次の舞台で多くの人たちと良い出会いに恵まれ また一段と大きく成長し様々に活躍することを心から願い お祝いの言葉とさせていただきます

本日は誠におめでとうございます

令和五年三月十五日 帯広市立翔陽中学校
PTA会長 大野 清徳

令和4年度 第2回「学校満足度アンケート」より

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

注) 満足度について、「A：十分である(とても満足している)」と「B：まあまあである(やや満足している)」を合わせ、「満足度が高い」という捉え方をしています。

生徒の満足度が高い項目

- ・登校時の歩行や自転車の乗り方について、ルールやマナーを守っている。(96.3%)
- ・学校生活や社会のルールを守って生活している。(95.6%)
- ・仲間を尊重し、支え、思いやりの気持ちを持って接している。(93.6%)

保護者の満足度が高い項目

- ・「たより」(学校便り、学年・学級通信、保健便り等)や、HP・メール等を利用して、情報発信を適切に行い、内容も適切である。(82.6%)
- ・学校行事や委員会活動、係活動において、自ら進んで取り組んでいる。(82.3%)
- ・学校生活や社会のルールを守って生活している。(80.8%)

☆ルールやマナーに関する項目について、満足度が高い傾向にありました。落ち着いた雰囲気の中で教育活動が進められていることに、一定の評価をいただいていると判断しております。今後も「規範意識をもつこと」を基底としながら、いろいろな人との関わり方についてのマナー・スキルについても、日常の指導を継続していくことが大切であると考えております。

☆各種行事等で、制限はありながらも教育活動を保護者にご覧いただける機会が増えました。今後も参観をはじめ、各種の「たより」や学校HP・連絡メール等でわかりやすく適切な連絡、学校生活の様子が見える情報発信に努めてまいります。

改善の傾向にあるもの ※前回からの変化も記載

- ・火災、地震、薬物、ネットトラブルなどの危機管理指導に力を入れている。(保護者:52.2→64.5%)
- ・いじめの防止やいじめの早期発見に向けた取組を行っている。(保護者:54.6→65.6%)



◇危機管理指導については、今後も関係機関と連携しながら進めてまいります。SNSの使い方については、今後も家庭でのルール作り等をよろしくお願いいたします。

◇今年度も生徒会主催のいじめ撲滅集会で、全校生徒がいじめ防止のためのメッセージ作りを行うなど、「いじめは許さない」雰囲気づくりを学校全体で進めてきました。また、いじめの早期発見・早期対応のために、いじめアンケート(3回)や教育相談(2回)を実施し、「嫌な思いをした」と回答・相談があった生徒に対しては、速やかに丁寧な聞き取りをし、今年度は12件をいじめと認知して仲間との望ましい関わり方についての指導・支援を行いました。今後も、生徒理解に努め、個々の生徒の心に「寄り添う指導」に力を入れ、一層の信頼関係の構築に努めてまいります。

課題と捉えているもの

- ・家庭学習の習慣化や充実に向けた取組を行っている。(保護者:60.1%)
- ・放課後や長期休業中の学習支援「はばたき学習クラブ」など、機会があれば参加し努力したいと思いませんか。(生徒:27.2%)

★生徒の約14%が「毎日学校以外で学習することがあまりない」と自己評価しています。家庭学習の習慣化に関しては、テスト前の学習計画表の作成や記録、家庭学習ノートなど自主的な活動に加え、生徒会の学習委員会での家庭学習プリントの配付・提出等、生徒の主体的な取組も進めています。今後はこれらを継続しつつ、家庭学習の意識や方法に関する指導を丁寧に進めるなど、個別最適な学びを意識した取組にも力を入れてまいります。

★「はばたき学習クラブ」に参加した生徒からは、「参加してよかった」という感想が多くありますが、そのよさや意識をより多くの生徒に伝えていく工夫が必要であると考えております。開設時期や回数・時間について、生徒の意見も参考にしつつ改善に努めてまいります。

<離任のあいさつ>



海鋒 達也 校長 (退職)

保護者や地域の方々との交流の機会もない2年間でしたが、その分生徒たちにはいつも「チョッカイ」をかけさせてもらいました。翔陽中学校で教職を終えます。皆様の益々のご活躍を心より祈念し、お礼と挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。



小笠原良祝 教諭 (退職)

還暦を迎え、定年退職し、再任用という形でさらに数年教員として働く予定です。保護者の方々には様々な面で助けていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



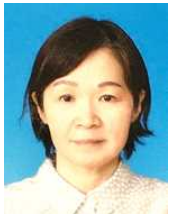
井原 康則 教諭 (退職)

この3月で、教員生活を終えることになりました。今年度は1年3組の担任をさせていただき、よい生徒たちに恵まれ、忙しいながらも楽しい毎日でした。本当にありがとうございました。



前田 智美 教諭 (退職)

初任で翔陽中学校に勤務となり、4年間お世話になりました。担任や卓球部の活動に対して、多くの保護者の方々にご支援、ご協力をいただいたこと、感謝しております。4年間、本当にありがとうございました。



中村みゆき 事務主幹 (退職)

この度、3月末をもちまして、定年退職することとなりました。翔陽中学校では、7年間勤務し、保護者や地域の皆さま、PTA会員の皆さまに大変お世話になりました。翔陽中学校の生徒の皆さんのますますのご活躍を願って、最後のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



大泉 昭人 教頭 (帯広市へ)

「子どもたちに感動、保護者の皆さんに感謝」の1年間でした。愛着のある帯広の礎を築いたこの地域で働けたこと、子どもたちと共に時間を過ごせたことは幸せでした。ご支援に感謝申し上げます。お世話になりました。



富田 有 教諭 (帯広市へ)

このたび、お世話になったこの地域とこの学校を離れることとなりました。七年はあっという間でしたが、多くの保護者の方や地域の方、何より生徒のみなさんとの交流が思い出深く、今でも感慨深く思い出されます。本当にありがとうございました。



宮内 勤 教諭 (音更町へ)

初任でこの翔陽中学校で4年間お世話になりました。たくさんの方に支えていただきましたことを感謝申し上げます。最後に全校での合唱を聞くことができ嬉しく思います。また、担任や吹奏楽部の活動に対して多くの保護者の方々にご支援ご協力をいただきましたことを重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。



谷内 雅美 教諭 (帯広市へ)

1年間という短い期間ではありましたが、この間、特に1年7組、サッカー部の保護者の皆様には、大変お世話になりました。お子さんの今後の大いなる成長を心よりご祈念申し上げます。有難うございました。



石田 香織 助手 (帯広市へ)

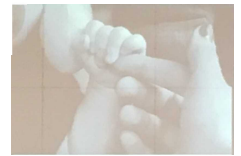
文化祭や展示即売会では声をかけていただき、とても励みになりました。拙い支援ではありましたが、暖かく見守ってくださり感謝しています。7年間お世話になりました。



小林 葉子 支援員 (退職)

いつも明るく、笑顔で挨拶をしてくれる生徒の皆さんにたくさんの元気をもらい、とても幸せな3年間でした。素敵な時間をありがとうございました。お世話になりました。

いのちの学習



3月7日、助産所ふたばの助産師（本校卒業生の保護者）が講師を務め、3年生を対象に命や性、思

春期の心と体について考える「いのちの学習」を行いました。奇蹟が重なって命が誕生すること、たくさんの愛情で命が育まれていること、命のバトンを繋ぐ大切さ、性のトラブルから身を守ることに、スライドや動画、イラストやクイズ、シミュレーションゲームやロールプレイなどで具体的に学習しました。好みや幸せは人それぞれで、唯一無二の自分・みんなを尊重する大切さについて考えを深めました。授業後、

生徒を代表して景山さんが、「自分が幸せになるために、みんなが幸せになるために、今日の学習を生かしていきたい」と感想を述べていました。



各種大会より

2/24~3/21まで

□ 北海道中学生1年生団体王座ソフトテニス大会

<女子> 十勝選抜 (翔陽中より長澤実樹・伊藤胡夏) **全道 10位**

□ 北海道チャンピオンズカップ (野球)

翔陽中・四中 **出場 (2戦2勝)**

□ 全国中学生軟式野球大会

北海道選抜 (翔陽中より田邊直孝・別府真治治) **全国 Best4 進出**
(1・2回戦コールド勝ち、雨天順延により準決勝を辞退)

4月の予定

3月25日(土) 春休み~4月9日

4月10日(月) 着任式、始業式、入学式

11日(火) 生徒会入会式、対面式

15日(土) PTA総会、学年・学級懇談会

18日(火) 全国学力・学習状況調査(3年)

25日(火) 副教材販売

21日(火) 保護者面談(1・2年)~5月11日

24日(月) 振替休業日(15日登校日の振替)

29日(土) 昭和の日

※ 現時点の予定ですので、変更もあります。